

# 令和4年度事業報告

令和4年度、一般社団法人持続可能社会推進コンサルタント協会（以下、「協会」と言う。）の役員、職員及び各部会委員等は、定款及び諸規則等に従い適正に協会の運営管理を行うとともに、令和4年度事業計画に基づき、第四期将来ビジョンの推進、調査研究、人材育成、技術の普及啓発、対外活動及び国際協力等に係る事業を実施した。

令和4年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響で、企業活動のみならず日常生活にも大きな影響があり、いわゆる3密回避や人の異動を制限するために、在宅勤務やスプリット出勤が行われ、日本全国で人々が集う会合の多くが中止され、場合によってはWeb等による会合に切り替えられた。

協会活動も例外ではなく、総会、理事会、各部会・研修会等は書面・Web・メールベースでの開催を余儀なくされ、活動自体を中止・延期せざるを得ない場合もあった。他方で従来実質的に参加が困難な場合が多かった多数の会員にとっては、Webによる開催によって時間的或いは場所的な制約条件が大幅に緩和されたため、技術者研修講座・技術セミナーには予想をはるかに上回る多くの参加者があるなど、さまざまな手法を用いた開催方法の可能性が明らかになり、今後の協会活動のあり方を考える上でも、示唆に富んだ経験であったと考えられる。

協会名を「持続可能社会推進コンサルタント協会」に変更したことによる従来の廃棄物関連から「循環型社会」・「脱炭素社会」・「自然共生社会」に係る活動の多様化のため、技術部会に関連する3つの委員会を設置し、本格的な活動に向けての足がかりとして各分野の第一線の研究者・実務担当者を招いての勉強会を開催することができた。

また、環境省の政策である「地域循環共生圏」及び「脱炭素先行地域」に関しては、広報誌（会報）において、会員による様々な取り組みとともに情報の発信を行った。

気候変動に伴う激甚な自然災害の頻発は近年一層顕著になっており、災害廃棄物の問題が大きな社会問題となっている。環境省からの依頼に基づき協会としてD.Weste-Netの一員として、広範な被害をもたらした令和4年8月大雨の被災地である福井県南越前町及び令和4年台風15号の被災地である静岡市に技術者を派遣した。

わが国の国力に大きく関係する災害の頻発や人口減少が継続するなど、社会経済状況が大きく変化していくなかで、今般の新型コロナウイルス感染症など未知の分野に直面する複雑な環境の下、協会としても、いかなる形で社会に貢献していくかを考える上で、重要な時期であると考えられる。

以下、令和4年度事業の実施状況について報告する。

## 1. 協会の運営管理

### (1) 総会

#### ①第11回 定時総会

日 時	令和4年5月25日(水)(会合・Web・書面によるハイブリッド開催)
議 案	令和3年度事業報告について 令和3年度決算及び監査報告について 役員を選任について
報 告	令和4年度事業計画について 令和4年度予算について
協会表彰	功績賞 ・令和3年8月大雨D-Weste-Net派遣：2名 ・「汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領」執筆：6名 ・令和3年度技術者研修講座・技術セミナー議事進行：3名 ・令和3年度倫理研修会議事進行：1名 ・第10回 SuSPCA/OECC 合同セミナー議事進行：2名 ・令和3年度研究室訪問事業議事進行：1名

### (2) 監事監査

日 時 令和4年4月22日(書面審査)  
(監査結果については第11回定時総会において報告)

### (3) 理事会

#### ①第21回理事会

日 時	令和4年5月11日(書面審議によるみなし開催)
議 案	令和3年度事業報告について 令和3年度決算及び監査報告について 役員を選任について 第11回定時総会の開催について 令和4年度表彰について

#### ②第22回理事会

日 時	令和5年2月27日(書面審議によるみなし開催)
議 案	令和5年度における会費区分について 令和5年度事業計画について 令和5年度予算について 第7期役員候補者名簿について

#### (4) 部会

##### ① 総務部会

第1回 令和4年5月11日(水)(Web併用)

令和3年度事業報告について

令和3年度決算及び監査報告について

役員を選任について

令和4年度表彰について

会報について 等

第2回 令和4年12月16日(金)(Web併用)

倫理研修会について

会報について 等

第3回 令和5年2月17日(金)(Web併用)

令和5年度の会費区分について

令和5年度事業計画及び予算について 等

##### ② 技術部会

令和4年7月22日(水)(Web併用)

委員会の活動について

技術者研修講座・技術セミナー 等

#### (5) 表彰審査会

令和4年4月21日(木)(メール会議)

#### (6) 役員候補者選考委員会

① 第1回 令和4年11月17日(木) 10:30-(Web会議)

役員候補者選出について

選出の手続きの進め方とスケジュールについて

② 第2回 令和2年11月21日(月)(メール会議)

第7期正会員役員候補者の募集及び選出(公告)について

③ 第3回 令和3年2月14日(火)(メール会議)

第7期正会員役員候補者推薦書の届け出の結果について

(7) 人 事

令和4年5月25日 会長職辞任 日高 彰  
会長職務代行 森孝信副会長  
令和4年7月15日 退職 事務局長 末武尚之

(8) 表 彰

○会長表彰

第11回定時総会（令和4年5月25日）において、会長から賞状と記念品を贈呈した。

① 功績賞（技術部会）

「令和3年8月大雨」災害廃棄物処理支援に関するD.Waste-Net派遣者

(ア) 林口昌典 株式会社ウエスコ

(イ) 梶清晋平 株式会社ウエスコ

② 功績賞（技術部会）

汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領（2020改訂版）に係る執筆

(ア) 中尾晴彦（株式会社エイト日本技術開発）

(イ) 森 智志（株式会社NJS）

(ウ) 渡邊仁史（株式会社NJS）

(エ) 山田剛士（中日本建設コンサルタント株式会社）

(オ) 鉤 佐登志（中日本建設コンサルタント株式会社）

(カ) 星山英一（八千代エンジニアリング株式会社）

③ 功績賞（技術部会）

令和3年度技術者研修講座・技術セミナーの議事進行

(ア) 森 智志（株式会社NJS）

(イ) 斉藤文夫（株式会社環境管理センター）

(ウ) 國安弘幸（八千代エンジニアリング株式会社）

④ 功績賞（総務部会）

令和3年度倫理研修会の議事進行

藍 隆行（応用地質株式会社）

⑤ 功績賞（国際部会）

第10回SuSPCA/OECC合同セミナー「世界の水と衛生問題解決に向けて  
（SDGs6の達成に向けて）」の議事進行

(ア) 野口一彦（中日本建設コンサルタント株式会社）

(イ) 中尾晴彦（株式会社エイト日本技術開発）

⑥ 功績賞（対外活動部会）

令和3年度研究室訪問事業の議事進行  
桑原岳人（株式会社環境管理センター）

○環境大臣表彰

協会が推薦した鶴長文憲氏（パシフィックコンサルタンツ株式会社）が、「令和4年度循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（廃棄物・浄化槽研究開発功労者）」を受賞。

## 2. 調査研究の推進



(1) 技術部会に設置の委員会について

従前の廃棄物コンサルタント協会の基盤に立ちつつ、環境問題の多様化に対応した持続可能社会推進コンサルタント協会の技術的課題を解決していくため、技術部会に①「循環型社会委員会」、②「脱炭素社会委員会」及び③「自然共生社会委員会」を設置し、それぞれの委員会委員の募集を行い、令和4年度から勉強会を開始した。

① 循環型社会委員会

○第1回勉強会

実施日時：令和4年12月23日（金）13時30分（オンライン）

受講者数：約45名

講義内容：災害廃棄物処理について

講師：環境省環境再生・資源循環局 小早川鮎子 災害廃棄物対策官

○第2回勉強会

実施日時：令和5年2月20日（月）13時30分（オンライン）

受講者数：約60名

講義内容：「トレーtoトレー」&「ボトルto容器」

エフピコ方式で循環型社会に向けて

講師：株式会社エフピコ サステナビリティ推進室

富樫英治 ジェネラルマネージャー

② 脱炭素社会委員会

○第1回勉強会

実施日時：令和4年12月2日（金）15時30分～（オンライン）

受講者数：約 45 名

講義内容：地域脱炭素の推進について

～脱炭素先行地域とコンサルタントに期待すること～

講師：環境省中部地方環境事務所 林俊宏 統括環境保全企画官

○第 2 回勉強会

実施日時：令和 5 年 1 月 25 日（金）13 時 30 分（オンライン）

受講者数：約 50 名

講義内容：気候変動に関する世界的潮流・JICA の取り組み

講師：JICA（独立行政法人国際協力機構）川西正人 国際協力専門員

③ 自然共生社会委員会

○第 1 回勉強会

実施日時：令和 4 年 12 月 12 日（金）13 時 30 分（オンライン）

受講者数：約 30 名

講義内容：自然共生社会に関する最近の状況とコンサルタントに期待すること

講師：関西学院大学 総合政策学部 総合政策学科 佐山浩 教授

○第 2 回勉強会

実施日時：令和 5 年 1 月 31 日（金）13 時 30 分（オンライン）

受講者数：約 60 名

講義内容：TNFD、SBT for Nature 等生物多様性を取り巻く現状

講師：WWF ジャパン（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン）

松田美子 生物多様性グループ長

（2）環境省受託事業

① 令和 4 年度特定一般廃棄物及び特定産業廃棄物の最終処分場の管理及び廃止に関する調査検討業務

・事業期間 令和 4 年 8 月 22 日～令和 5 年 3 月 31 日

・契約金額 14,245 千円（消費税込み）

・業務概要 放射性物質により汚染された特定一般廃棄物及び特定産業廃棄物の最終処分場について、その実態を把握し技術的課題や改善点等を抽出し、長期的な管理手法を検討。

② 令和 4 年度「令和 4 年 8 月大雨」災害廃棄物処理支援業務

・事業期間 令和 4 年 8 月 31 日～令和 4 年 9 月 30 日

・契約金額 957 千円（消費税込み）

- ・業務概要 令和4年8月大雨に係る災害廃棄物処理支援のために福井県南越前町に会員会社の技術者職員3名を派遣。
- ③ 令和4年度「台風15号」災害廃棄物処理支援業務
- ・事業期間 令和4年10月3日～令和4年11月30日
  - ・契約金額 4,983千円（消費税込み）
  - ・業務概要 令和4年台風15号に係る災害廃棄物処理支援のために静岡市に会員会社の技術者職員10名を派遣。
- ④ 令和4年度循環型社会形成推進交付金等交付対象整理等業務
- ・事業期間 令和4年9月21日～令和4年10月21日
  - ・契約金額 924千円（消費税込み）
  - ・業務概要 市町村等が適切に交付金等を活用できるよう、交付金等の交付対象設備の整理等を行うもの。
- ⑤ 令和4年度循環型社会形成推進交付金等に係る市町村等事務手続き整理業務
- ・事業期間 令和4年10月11日～令和4年10月21日
  - ・契約金額 972千円（消費税込み）
  - ・業務概要 市町村等の事務手続きの効率化を図る観点から当該事務手続きについて整理を行うもの。

### 3. 人材育成、技術の普及啓発の推進



#### (1) 技術士試験対策講習会

- 開催日時 令和4年4月13日（金）14時～16時（Web開催）
- 受講者 21名（協会会員会社20名、外部1名）
- 講義 ～試験対策のポイント～
- 講師 前田 伊瑞実（応用地質(株)、技術部会委員）
- 合格者体験談 安庭 晶子（応用地質(株) 令和3年度合格者）

(3) 技術者セミナー (Web)

令和3年度技術者研修講座・技術セミナー (令和3年10月から令和4年6月まで)

令和3年度技術者研修講座・技術セミナー				
月	時間帯	技術者研修講座	技術セミナー	講師
4月	8日(金) 13:30- (第13回)	廃棄物の測定・分析		株式会社 環境管理センター 長谷川亮
	22日(金) 13:30- (第14回)		海外分析事業	株式会社 環境管理センター 熊田貴充
5月	13日(金) 13:30- (第15回)	海外コンサルタント事業		パシフィックコンサル タnts株式会社 中尾剛
	27日(金) 13:30- (第16回)		グリーンインフラ	いであ株式会社 幸福智
6月	3日(金) 13:30- (第17回)	災害廃棄物処理		応用地質株式会社 眞鍋和俊
	17日(金) 13:30- (第18回)		SDGs/ESG 国際協力に関 わるコンサルタントの 視点	日本工営株式会社 菊池淳子



令和4年度技術セミナー

技術セミナー第1弾			
月	時間帯	技術セミナー	講師
9月	8日(木) 13:30-	地域循環共生圏について	環境省 地域循環共生圏推進室 佐々木真二郎室長
	22日(木) 13:30-	「水循環が支える日本文明 ーエネルギーと水運ー」	特定非営利活動法人日本水フォーラム 竹村公太郎代表理事
10月	6日(木) 13:30-	ゆめファーム 清掃工場排熱・CO2の利用 等	全国農業協同組合連合会 (JA 全農) 耕種総合対策部施設園芸企画室 太田悠介氏
	20日(木) 13:30-	アスクルがラストワンマイルに EVを使う理由	アスクル株式会社 コーポレート本部 コーポレートコミュニケーション サステナビリティ/環境 東俊一郎氏

技術セミナー第2弾			
月	時間帯	技術セミナー	講師
11月	30日(水) 13:30	「水に感謝し、水の大切さを伝える」ミ ツカン水の文化センター について	株式会社ミツカン ミツカン水の文化センター長
12月	14日(水) 13:30-	森林保全で脱炭素に貢献	コクヨ株式会社 齊藤申一環境ユニット長
	21日(水) 13:30-	・持続可能な消費と生産が社会課題を ビジネスにつなげる ・再エネ100宣言 RE Action	グリーン購入ネットワーク 深津学治事務局長

## 4. 対外活動の推進



### (2) D. Waste- Net

令和4年度「令和4年8月大雨」災害廃棄物処理支援業務により福井県南越前町に3名、令和4年度「台風15号」災害廃棄物処理支援業務により静岡市に10名、会員会社の技術者を派遣した。

### (3) 関係機関、関係団体との連携

関係機関等への協力及び委員派遣等

#### ○一般社団法人廃棄物資源循環学会

評議員 日高 彰 代表理事 (パシフィックコンサルタンツ(株))  
理事 森 孝信 副会長 (株)エイト日本技術開発  
理事 袖野 玲子 理事 (芝浦工業大学)  
理事 友田 啓二郎 監事 (株)東和テクノロジー  
監事 橋詰 博樹 監事 (多摩大学)

#### ○公益社団法人全国都市清掃会議

「汚泥再生処理センター等施設整備の計画・設計要領」  
(編集発行：社団法人全国都市清掃会議)の改訂  
主査 森 智志 技術部会委員 (株)N J S) 等

#### ○一般社団法人廃棄物処理施設技術管理協会

環境技術会誌編集委員会  
委員 森 智志 技術部会委員 (株)N J S)

#### ○公益社団法人全国都市清掃会議

「都市清掃」編集委員会  
委員 國安 弘幸 (八千代エンジニアリング(株))

#### ○日本廃棄物団体連合会

監事 藤塚哲朗 専務理事

## 5. 国際協力の推進



### (1) 国際セミナー

#### 第11回 SuSPCA/OECC 合同セミナー

(一般社団法人海外環境協力センター (OECC) との合同セミナー)

1. 日時：2023年2月13日(月) 14:00～16:15

2. 開催形式：オンライン形式 (Zoom)

3. プログラム：

14:00～14:05	開会挨拶 竹本 和彦 OECC 理事長
14:05～14:25	講演1「海洋プラスチック廃棄物問題に係る国際的枠組に向けた政府間交渉の行方」 環境省 水・大気環境局 水環境課 大井 通博 課長
14:25～14:40	質疑応答
14:40～15:00	講演2「プラスチック資源循環、循環経済への移行に向けた取組の展望」 環境省 環境再生・資源循環局 総務課 リサイクル推進室 水谷 努 室長
15:00～15:10	休憩
15:10～16:10	パネル・ディスカッション (モデレーター：OECC 大村参与) パネリスト (順不同)： ・(公財)地球環境戦略研究所 栗生木 千佳 主任研究員/副ディレクター ・(一社)日本化学工業協会 化学品管理部 樋口 俊彦 部長 ・ジェトロ・アジア経済研究所 小島 道一 上席主任研究員 (ERIA 支援室 室長) ・環境省 リサイクル推進室 水谷 努 室長
16:10～16:15	閉会挨拶 中石一弘国際部会長

### (2) 廃棄物管理分野の国際協力に関する地方公共団体プラットフォーム検討委員会 (環境省事業)

委員 藤塚哲朗 専務理事

### (3) 独立行政法人国際協力機構(JICA)研修講師

- ① JICA 関西(公益財団法人ひょうご環境創造協会受託)研修「都市の固形廃棄物管理の実務(C)」(公益財団法人ひょうご環境創造協会受託)へ講師(2名)派遣
- ② JICA 中部(公益財団法人国際環境技術移転センター受託)研修「海洋ごみ対策のための廃棄物管理(B)」(公益財団法人国際環境技術移転センター受託)研修へ講師(2名)派遣

### (4) 海外案件に関する受注高調査

国内受注高調査に合わせて、会員各社を対象にして令和2年度年度の海外案件に関する受注高調査を令和4年3月に実施し、その集計結果を会報第91号(令和5年3月発行)に掲載。

## 6. 協会運営等に係る事業



### (1) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動(受注高調査)

会員各社を対象に令和4年度の国内受注高及び海外受注高についてアンケート調査を行い、その集計結果を、会報第91号(令和5年3月発行)に掲載。

### (2) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

#### ① 会報の発行

令和4年7月(第89号)、令和4年10月(第90号)及び令和5年3月(第91号)(各4,500部)を全都道府県市区町村の循環型社会推進・脱炭素・自然共生担当部門、環境省、関係機関及び会員に配布。

86号から環境省の政策である地域循環共生圏を特集シリーズとして掲載を開始し、89号では『ひとにやさしく魅力ある「交通・移動」システム』、90号では『健康で自然とつながりを感じる「ライフスタイル」』及び91号では『水の循環と調和する地域コミュニティ』を取り上げ、様々な主体の最新の取り組みについて情報発信を行った。

また、90号では脱炭素に関する最新の情報を発信するため、環境省の政策である「脱炭素先行地域(第1回)」の紹介を特集した。

**【目次は参考として巻末に添付】**

## ② 会員名簿の発行

新たに「循環型社会」・「脱炭素社会」・「自然共生社会」の各分野に対応した 2022 年版会員名簿（印刷部数 4,000 部）を 6 月に発行し、全都道府県市区町村の循環型社会推進・脱炭素・自然共生担当部門、環境省、関係機関及び会員に配布した。

## ③ ホームページ

適時適切にホームページを更新するとともに、協会のイベント等の開催案内を掲載し、協会の活動状況を周知した。

## (2) その他

### ① Web 会議システムの導入

新型コロナウイルス感染症のため一同が集合しての会議開催が困難になったこと及び時間的・場所的制約の緩和の点から事務局に Web 会議システム (Zoom) を導入し、各種会議・研修会等を開催している。

### ② 事務局活動のグリーン化等

事務局活動により排出される使用済みコピー用紙、包装用紙、段ボール箱及び新聞紙等に関して、リサイクルを促進し、事務局から排出される紙類廃棄物量の低減を図るため、「ちよだ・エコオフィス町内会」活動に参加し、事務局活動により発生する様々な古紙の回収を開始した。

事務局経費を一層削減し、もって財政状況の健全化を促進するため、毎日の様々な活動場面でリユース・リデュース等を心掛けるなどの意識づけを行っている。

### ③ 倫理の向上等に関する活動

#### ○ 倫理研修会の開催

企業活動や企業経営においても社会貢献が当たり前の時代になり、事業活動を通じて得られた知識・知恵を社会に還元するとともに文化継承、人材育成等が企業倫理の一環として求められていることから、コンサルタントの公益事業に関する研修会を開催した。

1. 日 時 令和 5 年 2 月 9 日 (木) 14:00-16:00

2. 開催方式 Web 方式 (Zoom)

3. 研修内容

コンサルタントによる公益事業等への取組について

(1) 公益財団法人 いであ環境・文化財団 井上 由美 事務局長

(2) 一般財団法人 日水コン水インフラ財団 三浦 輝久 事務局長

# 参 考

## 会 報

### 第 89 号

#### 目 次

#### I 巻頭言

地域循環共生圏と技術士

公益社団法人日本技術士会 会長 寺井 和弘

#### II 特集

地域循環共生圏（その4）「人にやさしく魅力ある「交通・移動」システム」

地域循環共生圏シリーズ（その4）「人にやさしく魅力ある「交通・移動」システム」特集にあたって

豊口 敏之（総務部会長）

- ① 地域と共に未来へ進む 津軽鉄道 ～地域から愛され 地域の宝として～  
澤田 長二郎 津軽鉄道(株) 代表取締役社長
- ② 地域循環共生圏におけるグリーンスローモビリティへの期待  
川上 佐知 復建調査設計(株)
- ③ 多様なモビリティの統合的交通施策としての MaaS、地域交通のあり方  
-地方都市の持続可能な交通構築にむけた提案-  
藤田 光宏 八千代エンジニアリング(株)
- ④ 誰もが自由に移動できる社会を目指して -シティ Mobi の展開-  
五十嵐 達哉 (株)建設技術研究所
- ⑤ サイクリングで地域と人をつなぐ  
-旅×自転車の情報メディア「TABIRIN」の紹介--  
栗栖 嵩 パシフィックコンサルタンツ(株)
- ⑥ 金沢市公共シェアサイクルまちのりの取組 ～“街の利”を目指して～  
片岸 将広 (株)日本海コンサルタント
- ⑦ 海の次世代モビリティ実証試験  
-ズワイガニ資源量推定における AUV 活用-  
高島 創太郎 いであ(株)
- ⑧ 公共交通指向型まちづくり -人にやさしく魅力ある交通システム-  
横尾 茂 (株)日建設計
- ⑨ アスクルがラストワンマイルに EV を使う理由 -「2030年 CO2 ゼロチャレンジ」  
に向けて、再生可能エネルギーと電気自動車を 100 パーセントに  
東 俊一郎 アスクル(株)

#### III イベント報告

#### IV 総会・部会報告

## V 研究室紹介

- Vol. 19 最終処分場技術開発における実証実験の重要性  
福岡大学大学院工学研究科 准教授 為, 田 一雄

## VI 自治体の取組紹介

- Vol. 26 持続可能な地域社会の実現に向けて～SDGs 未来都市しもかわ～  
下川町長 谷 一之
- Vol. 27 The World is Blue 世界はどちらの青に？「命を思いやる想像力」で世界は変わる！  
名古屋市環境局ごみ減量部 小木原 吏香
- Vol. 28 循環型社会に向けた取り組み  
廿日市市循環型社会推進課 用品 啓太
- Vol. 29 「サンゴの村宣言」SDGs プロジェクト-世界一サンゴと人にやさしい村を目指して-  
恩納村企画課 富着 開
- Vol. 30 次期中間処理施設整備事業に関する取組について-  
印西地区環境整備事業組合印西クリーンセンター次期施設推進室

## VII 会員便り

- Vol. 38 環境学習講座あれこれ  
味澤 伸輔 (株)環境技術センター
- Vol. 39 安心・安全そして強靱な社会基盤づくり  
田澤 光治 (株)復建技術コンサルタント
- Vol. 40 ケニアの環境  
Victor Muhandiki (株)NJS
- Vol. 41 フィジー共和国における低環境負荷型水処理・資源循環システム普及事業  
山内 比呂士 オリジナル設計(株)
- Vol. 42 パラオ国廃棄物処分場建設計画 -途上国における福岡方式の最終処分場-  
前田 剛和 (株)建設技研インターナショナル

## VIII 地域発信

- Vol. 32 古き時代とつながるところ  
斉藤 道德 (株)エスイイシイ
- Vol. 33 天満橋とその周辺の楽しみ方  
山本 一慶 (株)日産技術コンサルタント

# 会 報

# 第 90 号

## 目 次

### I 巻頭言

国立研究開発法人国立環境研究所資源循環領域長

一般社団法人廃棄物資源循環学会会長 大迫 政浩

### II 特集

地域循環共生圏（その5）『健康で自然とのつながりを感じる「ライフスタイル」』

地域循環共生圏シリーズ（その5）

『健康で自然とのつながりを感じる「ライフスタイル」』特集にあたって

豊口 敏之（総務部会長）

- ① 子供向け環境学習講座の取り組み - 日々の暮らしと地域、地球とのつながり -  
味澤 伸輔 株式会社環境技術センター
- ② アプリ「水辺へGo！」のご紹介 - 楽しい水環境の調査ツール -  
清水 康生 日水コン水インフラ財団 水文化継承事業部
- ③ ファッションを持続可能に  
岡野 隆宏 環境省
- ④ 水族館プロジェクトが果たす環境社会および地方創生への貢献  
小林 弘嗣 株式会社アクアメント
- ⑤ 水面から街を見上げて13年 - 都心の舟めぐりの魅力 -  
松田 光弘 株式会社建設技術研究所 国土文化研究所
- ⑥ NPO法人もりメイト倶楽部Hiroshima - 自然と共存し豊かに生きる -  
友田 啓二郎 株式会社東和テクノロジー
- ⑦ Future×コミュニティ ～地域課題解決の方向性～ - 日光市におけるyecの取り組み -  
鈴木 庸平 八千代エンジニアリング株式会社
- ⑧ JA全農の施設園芸分野におけるカーボンニュートラルへの取り組み  
- 環境配慮型施設園芸の推進 -  
太田 悠介、吉田 征司、中澤 秀樹 全国農業協同組合連合会
- ⑨ 地球にやさしいライフスタイル - 私たちが実践していること -  
青柳 恵美子 消費生活アドバイザー

### III 研究室紹介

Vol. 20 景観と再生

宮城大学 事業構想学群 教授 小沢 晴司



#### IV 脱炭素先行地域（第1回）紹介特集

「脱炭素先行地域（第1回）」紹介特集にあたって  
嶋影 徹（総務部会）

- CASE # ① 未来へつなぐ持続可能なまちづくり  
- ゼロカーボン上土幌の実現とスマートタウン構築を目指して -  
北海道上土幌町 井溪 雅晴
- CASE # ② 「環境のまち」北海道 鹿追町の取組み  
- 脱炭素先行地域「MIRAI COUNTRY」の提唱 -  
北海道鹿追町 林 大介
- CASE # ③ 自然エネルギー100%の村づくりへの挑戦  
- 水田バイオマスの地域内循環利活用を目指して -  
秋田県大潟村 石川 猛
- CASE # ④ 農山村の脱炭素化と地域活性  
- 米原市の脱炭素先行地域の取組 -  
米原市 大塚 祐司
- CASE # ⑤ 淡路市におけるゼロカーボンシティ×ローカルSDGsに向けた取組み  
淡路市 伊藤 篤史
- CASE # ⑥ 脱炭素先行地域への挑戦  
再生可能エネルギーで輝く「おおなん成長戦略」  
島根県邑南町 藤田 浩司
- CASE # ⑦ 「百年の森林構想」から持続可能な村づくりへ  
- 「生きるを楽しむ」SDGs 未来都市西粟倉村 -  
岡山県西粟倉村 上山 隆浩
- CASE # ⑧ 令和2年7月豪雨からの創造的復興×脱炭素の村づくり  
熊本県球磨村 内布 偉貴
- CASE # ⑨ 脱炭素先行地域 知名町  
- ゼロカーボンアイランドおきのえらぶ -  
鹿児島県知名町 西 隆盛

#### V 会員便り

- Vol. 43 農業関連事業について ～農業資材開発のプロサポーター～  
春原 英彦 株式会社環境管理センター
- Vol. 44 地方公共団体実行計画(区域施策編)策定業務の概要  
筒井 僚子 株式会社四電技術コンサルタント

Vol. 45 ネパール国ポカラ市汚水管理マスタープラン策定プロジェクトの紹介  
中尾 晴彦 株式会社エイト日本技術開発

## VI 地域発信

Vol. 34 ぶらり、麴町大通りを西へ東へ  
副田 俊吾 日本工営株式会社

Vol. 35 ホームページ“あしあと”  
梶原 悠生、越智 ゆり子、高久 翔太、大崎 真央、豊山 翔太  
株式会社環境技術研究所

Vol. 36 金沢市海岸エリア（金沢港・金沢大野・金石）～金沢は発酵食品の宝庫～  
吉川 勝人 ナチュラルコンサルタント株式会社

## VII 総会・理事会及び部会報告

## VIII イベント報告

# 会 報

## 第 91 号

### 目 次

#### I 巻頭言

環境省 地域循環共生圏推進室長 佐々木 真二郎

#### II 特集

地域循環共生圏（その6）『水の循環と調和する地域コミュニティ』

地域循環共生圏シリーズ（その6）

『水の循環と調和する地域コミュニティ』特集にあたって

豊口 敏之（総務部会長）

- ① 「出ずる水の地」射水市の水 - いいみず いみず -  
浦口 一也 射水市上下水道部上下水道業務課
- ② 世界に誇る地下水都市くまもと - 地域で取り組む地下水保全 -  
金山 剛 熊本市環境局水保全課
- ③ アジアにおける経済活動と水環境改善 - 国連大学の取り組みの事例から -  
吉永 恵実 国連大学 サステイナビリティ高等研究所
- ④ 流域共同体の誕生、崩壊そして再生  
竹村 公太郎 特定非営利活動法人日本水フォーラム
- ⑤ 日本水循環文化研究協会の活動 - 水循環の健全化と地域循環共生圏づくりへ -

- 酒井 彰 特定非営利活動法人日本水循環文化研究協会
- ⑥ 水への想いを未来につなぐ - 日水コン水インフラ財団について -  
清水 康生 一般財団法人日水コン水インフラ財団
- ⑦ 社有林「アサヒの森」の持続可能な森林経営 - 森の水涵養による水資源保護 -  
火置 恭子 アサヒグループジャパン株式会社
- ⑧ キッコーマンの水管理 - 水管理と環境にかかわる取組み -  
香西 陽一郎 キッコーマン株式会社
- ⑨ 「水に感謝し、水の大切さを伝える」ミツカン水の文化センター  
松本 裕佳 株式会社ミツカン
- ⑩ 株式会社日吉の取組み - 社会に無くてはならない環境インフラ企業として -  
今莊 博史 株式会社日吉
- ⑪ 健全な水と環境を次世代に引き継ぐ  
馬場 啓輔 株式会社NJS
- ⑫ 釧路湿原水循環の解明と可視化 - 湿原への理解を深めるために -  
佐々木 知子 応用地質株式会社
- ⑬ 水網と暮らしと豊かさ。 - みんなで未来の水辺について語りましょう -  
安藤 達也 株式会社建設技術研究所
- ⑭ 時間がゆっくり流れる“はけ” - 東京都国分寺市・野川 -  
小野崎 研郎 パシフィックコンサルタンツ株式会社

### III 総会・理事会及び部会報告

### IV イベント報告

### V 環境大臣表彰受賞

パシフィックコンサルタンツ株式会社

鶴長 文憲

### VI 研究室紹介

Vol.21 世界中の若者と「ごみ・環境教育」をテーマに

京都大学大学院 地球環境学堂 准教授 浅利 美鈴

### VII 今年度のD.Waste-Net 活動について

株式会社四電技術コンサルタント

筒井 僚子

### VIII 地域・自治体の取り組み紹介

Vol.31 長沼町タンチョウも住めるまちづくり

- 地域循環共生圏プラットフォーム事業の活用 -

北海道長沼町 赤間 優歩

Vol.32 持続可能な三瀬地区を目指して

- 木質バイオマスエネルギー自給自足活動を通して -

鶴岡市三瀬地区自治会 竹内 秀一

Vol.33 山口県周防大島町における地域循環共生圏プラットフォームづくり

株式会社YMF G ZONEプランニング 藏重 嘉伸

### IX 会員便り

- Vol. 46 宇都宮市新最終処分場「エコパーク下横倉」整備事業  
瀬瀬 卓也 株式会社エイト日本技術開発
- Vol. 47 廃棄物とD&I  
石田 佳子 株式会社環境技研コンサルタント
- Vol. 48 風力発電関連業務の概要  
西嶋 真幸 株式会社東洋設計

## **X 地域発信**

- Vol. 37 岡山県真庭市を訪ねて  
林口 昌典 株式会社ウエスコ
- Vol. 38 神保町は匂いの街?! (神田神保町の紹介)  
宮崎 啓介 株式会社環境施設コンサルタント

## **巻末資料**

令和3年度受注高調査の結果について